

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.8 2011年8月7日



ロゴができました

当ネットワークのロゴが完成しました。盛岡聖書バプテスト教会の久保田生兄によるデザインです。左下の階段は、復興がキリストの十字架につながっていく姿を表しています。青い空と海、緑の大地に包まれる岩手であって、教会が隣人として仕えていくことができますように。

モバイル・カフェ出動

宮古、大槌、釜石など被災地各地をモバイル（移動式）カフェが巡回中。地域の方々にお茶とお菓子と語らいの一時を提供しています。被災地にこのようなリラックスできる場がどんなに求められていることでしょうか。カウンターに設置した聖書やトラクトを持っていかれる方も多くおられるようです。



絵本や粘土、こどもたちへ

土浦めぐみ教会より届けられた絵本、図書、本棚などを田老、磯鷗、津軽石の保育所や学童へ、東京の恋ヶ窪キリスト教会・こひつじ幼稚園より届けられた粘土と粘土ケースを田老保育所へそれぞれ届けました。土浦から来て下さった図書館司書の方が、それぞれの場で絵本の読み聞かせをして下さいました。

夏の暑さにも負けず

7月もたくさんの方々方が被災地に駆けつけて下さいました。仕事の内容は浸水家屋の片付け、大工仕事、物資配達、草刈、炊き出し、子どもたちのケア、そして傾聴など多岐に渡ります。遠路はるばる駆けつけて下さった方々、本当にありがとうございました。



第三回 温泉プロジェクト報告

佐々木真輝（北上聖書バプテスト教会牧師）



7月26日～27日に千貫石温泉東館にて第3回温泉プロジェクトが開催されました。今回は今までとは明らかに雰囲気を変化していました。仮設への入居が始まって、生活が落ち着き始めているという事もあるかと思いますが4ヶ月が過ぎ、少しずつ皆さんの表情から緊張が取れて来ていることが分かります。

いつも会場にはカラオケ機械が置かれているのですが、これまでは勧めても誰もマイクを取ろうとはしませんでした。歌うような気分じゃなかったのだそうです。しかし、今回は傾聴ボランティアで参加して頂いた地区の区長さんがマイクをとって超ナツメロ(でも参加者の世代にはドンピシャ)を歌うと、続けてマイクを取る人たちが出てきました。楽しそうに歌う姿、笑ったり涙ぐんだりしながら聴く姿。そして最後は「青い山脈」の大合唱！？。手拍子を取りながら青春時代の歌を歌う姿に、こちらの目にもぐっとくるものがありました。

お一人お一人のお話を聴かせていただければ、決して樂觀できるものではありません。「知り合いの家に身を寄せていたけれど仮設にあたって、つい数日前に移れてとりあえずほっとしている。」「ことし80になるのにまだ仮設の抽選に当たらず避難所生活をしている」「何度応募してもなかなか当たらない」「仮設に移って地域から離れてしまった」など、様々な状況の変化がありました。仮設の生活についても、「エアコンも家電類もあって何不自由ない快適だ」という人もあれば、「エアコンのある部屋は寒いくらいだけれど、台所やもう一つの部屋は蒸し風呂のようだ」とか、住環境を公平に作ったが故に、生活する人の過ごし方や受け取り方で、快適さには大分差があるようでした。

仕事については、他のところには漁船の贈呈などがあったようだが山田には来てないとか、防潮壁もない中で漁業を再開することの怖さ、若い人の仕事がない、という状況はほとんど改善されていないようです。旅館を営んでいた方がおられました。先代から受け継いだ看板を何とか次の代に繋ぎたいと願いつつも、一からやり直さなければならぬ苦悩もお聴きました。笑顔の絶えない時間でしたが、一人一人のお話を聴くと、そこには生活の落ち着きとともに、むしろ先月よりも増している不安と悩みもあると感じさせられました。

7月に支援活動に従事して下さった諸団体

3・11あおもり教会ネットワーク、JECA 関東地区、アメリカ・カベナント・チーム、聖契キリスト教団、ホクミン(北海道クリスチャン・ミッション・ネットワーク)、CCMN、OMF、関東地区 KGK・OG チーム、華人教会チーム(アメリカ)、戸倉キリスト教会(長野)、東京キリスト教学園(千葉)、リンウッド日本人教会(シアトル)、聖書宣教会、前橋キリスト教会、三沢基地、秋田カルバリーチャペル・祈りの家、IBF、田園グレース・チャペル、土浦めぐみキリスト教会、活水の群・湘南グレース・チャペル、同盟基督教団、宮古コミュニティチャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、改革派盛岡教会、盛岡デフ・バプテスト教会、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会(その他、個人としてチームに合流し、支援活動にあたって下さった方々がおられます。)

一つ一つのご奉仕に、心から感謝致します。